

自ら行動し本物を知る きつかけにしてほしい



九州新幹線全線開業関連
イベント実行委員会 委員長

たまがわ こういち ろう
玉川 浩一郎さん
Koichiro Tamagawa

3月12日に九州新幹線鹿児島ルートが全線開業を迎える。これにより、沿線地域をはじめ、県内全域にさまざまな効果が期待される。

この全線開業を機に、鹿児島県の魅力を広く県外に情報発信し、併せて地域の活性化を図るため、九州新幹線全線開業関連イベント実行委員会を中心に官民一体となったPR活動が展開されている。

実行委員会の委員長を務める玉川浩一郎さんは「全線開業を県民みんなで盛り上げて、有効に生かさないといけません。また、県外の方には、ぜひ鹿児島に来ていただいて、もっと鹿児島の人情に触れてもらいたいですね」と話す。

鹿児島新時代の一翼を担う玉川さんに、全線開業に対する思いなどを語っていただいた。

委員長になられた経緯は

お話をいただいた時、初めは「私には無理です。力不足です」と申し上げたのですが、日頃、後輩たちに「はい、よろこんで」の精神を持つようにと言っておりましたし、部分開業時のウォーターフロントでのイベント実行委員の経験が生かせればと思い、お引き受けしました。

私は、余程無理でない限り何事にも参加するように心掛けています。会社の中だけで通じる会話があ

りますよね。同じ仲間といつも一緒にいると居心地がいいけれども、それでは視野の狭い人間になってしまいます。だからできるだけ他流試合をしないとダメですね。他業種の方々と積極的に交流し、自分と違う文化に触れることです。そうすることで、自分の幅が広がります。

実行委員会のメンバーにも「これは、チャンスであり、共通のテーマで席を同じくしたことが、今後、仕事の交流など次の出会いに繋がっていく」と言っています。

これまでの取り組み状況について

全線開業に合わせて、魅力的な鹿児島県の情報を広く発信するために、県内の民間企業・関係団体・行政など多くの方々と一緒に、昨年夏から地域特性を生かした鹿児島らしい開業関連イベントを県内で実施しています。

開業イベントのテーマとして「往来、オーライ！」を掲げています。これは、鹿児島は終着点であると同時に始発点でもあります。で、全線開業を機に双方方向の交流による、新しい鹿児島創造に向けた県民の活力を導き出すことを目指しています。鹿児島弁で言う「おいが往って、わいも来ん

や！」ということになるでしょうが、「わいも来んや」もとても大事ですが、「おいが往って」の部分もこれからはさらに大事になるのではないのでしょうか。

私もこれまで、さまざまなイベントに参加させてもらいましたが、従来のイベントは「来てくださる型」が多かったですね。今回のイベントは、テーマである「行ったり来たり」を大事にしています。まずは私たちが外に出て行って相手のことを知る。それは、鹿児島に来た人をおもてなしするうえで必ず役に立ちます。最高のホスピタリティとは相手を知ることだと思えます。

また、今まではテレビ・雑誌・インターネットだけでの情報だったものが、自らが外向くことにより、



第1回実行委員会の様子。「各分野の代表が集まる委員会は、まさに活発な他流試合そのものですね」と語る玉川さん。

直接、五感で感じることができません。その地域の良いところを持ち帰り、地元に取り入れられるものはどんどん吸収するような取り組みが進んでほしいと思います。

鹿児島県の魅力について

以前、ドライブで輝北方面から鹿児島湾を望む場所を訪れたことがあります。左側では桜島が噴煙を上げており、右側では薩摩半島に夕日が沈んでいく。あのパノラマは非常に感動しました。

そのほかにも、鹿児島には歴史、自然、食など魅力のあるものがたくさんそろっています。ただ、その魅力に自分たちはあまり気づいていない部分があると思います。また、鹿児島の人には人見知り、積極的にアピールすることがあまり上手くないと言われることがあります。でも本当は友好的で情に厚く、にぎやかなことが好きな県民性を持っていると思います。

全線開業に期待することは

このことは、鹿児島にとって、とても大きな出来事です。その開業イベントを主体となってお手伝いすることには、非常に大きな責任を感じています。ただ、県民一人ひとりが



県外へのPRキャンペーン隊「Team かがしまー直線」。大勢の県民の見送りの中、中国・北部九州巡回キャンペーンに出発した。(2010年9月)

とりも当事者であり、みんなでの気運づくりをしていかなければいけないのだと思います。一つのイベントだけで鹿児島が活性化するのは難しいので、あくまでも、一つのきっかけや、提言であり、考え方をPRしていくことが大事です。

今回の全線開業は県外と鹿児島の違いが分かるチャンスです。良いところは伸ばし、悪いところは改善する。往來することが次につながるきっかけになるはず。 「最初の一步は自分から行動しよう」というメッセージが、開業イベントのテーマ「往来、オーライ！」には込められています。私も含めて、県民が鹿児島県の魅力を再発見するチャンスをもたらしたと思います。この良い機会に全線開業を一緒に盛り上げていきましょう。